2.悪性腫瘍・手術

[P02-21]Mandibular reconstruction was performed for Desmoplastic ameloblastoma of the mandibular molars using Trumatch®:A case report

○Yoshiaki Kato[1], Nishiyama Akihiro[1], Yamamoto Hiroyoshi[1], Hoshino Teruhide[1], Sugahara Keisuke[1], Katakura Akira[1] (1.Department of Oral Pathobiological Science and Surgery, Tokyo Dental Collage, Tokyo, Japan)

ポスターを表示

【緒言】
エナメル上皮腫の根治療法は病変の範囲が広い場合には顎骨切除術が選択され、顎骨の欠損部に対して自家骨移植とプレートによる顎骨再建が行われることが一般的である。この再建には術前におけるプレートの屈曲、骨の採取量の計画を立てるが術中で調整を強いられることも多い。近年、カスタムメイド・チタンプレートと移植骨の採取と調整をガイドするＴｒｕｍａｔｃｈ®　を用いることで効率的な手術が可能となった。そこで今回われわれはＴｒｕｍａｔｃｈ®を用いて下顎臼歯部に生じた類腱型エナメル上皮腫（以下：ＤＡ）に対して下顎区域切除後に腸骨ブロック移植による顎骨再建を行った１例を経験したので報告する。
【症例の概要】
３９歳、男性。２０２０年１月右側下顎角部の腫脹にて当科に受診し、パノラマＸ線写真にて右下３～下顎枝に及ぶ多房性、境界明瞭な透過像を認めた。３月に生検を行いエナメル上皮腫との診断を得た。術前に設計者とオンライン上でＣＴ画像を共有しデバイスの設計についての検討を行った。７月に全身麻酔下に下顎区域切除術、顎骨再建術、神経修復術を行い、術後の病理組織診断はＤＡであった。Ｔｒｕｍａｔｃｈ®により切除範囲の決定、腸骨採取からの移植、プレートの適合が計画通りに行えた。
【結語】
Ｔｒｕｍａｔｃｈ®を用いて下顎臼歯部に生じたＤＡに対して顎骨再建を行った１例を経験したので若干の文献的考察を加え報告した。

©Japanese Society of Oral Oncology